

人権の尊重／CSR教育・啓発

人権の尊重

人権に関する基本的な考え方

長谷工グループでは、「長谷工グループ行動規範」の中で「人権の尊重」を明文化しています。グループの社員一人ひとりが人権に対して理解を深め、常に高い意識を持って業務にあたることができるよう、グループ内での浸透を進めていきます。

長谷工グループ行動規範(抜粋)

2. 行動の基本姿勢

(4) 人権の尊重

あらゆる企業活動の場において、すべての人の基本的人権を尊重し、また、出生、国籍、信条、宗教、性別、心身における障害の有無等の理由による差別や個人の尊厳を傷つける行為を行わない。

人権尊重のための取り組み

長谷工グループでは、人権に対する意識を醸成するための取り組みの一つとして、新入社員の導入研修で人権に関するテキストを配布しています。

また、派遣社員やパートタイマーを含むすべての従業員を対象に、就業規則等でハラスメントに該当する行為を禁止しています。ハラスメントを予防するために、社員向けのeラーニングで定期的に教育を行うほか、社員に配布している『コンプライアンス通信』や社内掲示のポスターを通じ

て、啓発を行っています。加えて、社員からのハラスメントに関する相談は、内部通報制度における社内及び社外の窓口にて受け付けています。

さらに、結社の自由や団結権、団体交渉権、団体行動権を企業として尊重すべき基本的な要素と考え、その旨を労働協約の中で定めています。

CSR教育・啓発

長谷工グループでは、「CSRビジョン」「CSR方針」に基づき、すべてのグループ社員がCSRを理解し、日常業務の中で実践していくため、グループ内でのCSR教育・啓発に力を入れています。

2018年度は、グループ各社の役職者向けにCSRに関する講演会の開催、またグループ社員を対象にeラーニングを使用し、学習を実施しました。

これからも長谷工グループでは、社内報やイントラネットなどを活用し、最新のCSRの動向やグループ内でのCSRの取り組みに関する事例などを積極的に紹介していき、社員一人ひとりの行動につながる教育・啓発を継続します。



CSR講演会の様子

社会貢献活動

生物多様性保全活動

長谷工グループ生物多様性行動指針

基本理念

長谷工グループは、「都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する。」をグループ理念に掲げ、企業活動を行っています。人や企業は、自然環境からの様々な恵みを受けていることを認識し、生物多様性に配慮した企業活動を行うことにより、この保全並びに改善に資するよう努め、より快適で持続可能な地球環境を目指して参ります。

行動指針

1. コンプライアンス

生物多様性保全に関する法令等を順守するとともに、関連政策や社会的要請を把握し、その知見を事業活動に反映するよう努めます。

2. 教育啓蒙

生物多様性の保全活動のために必要な知識・法令等の情報を、社内教育等を通じて普及展開し、生態系の価値に対する社員の認識を高めます。

3. 建設事業における配慮

生物多様性に配慮した計画・設計・提案の実施、工事による影響の回避・低減に努めます。

4. 研究開発

生態系に関する情報や技術的知見の集積を行い、関連する技術研究開発を進めます。

5. 社会との協調

地域の環境保全活動や学会・協会活動への参加を通じて、社会への貢献に努めます。

「長谷工の森林(もり)」プロジェクト

「長谷工の森林(もり)」プロジェクトは2017年2月に迎えた80周年記念事業の一環で、「社会貢献」「未来志向」「地域との連携」をテーマに2017年に長野県茅野市、2018年に和歌山県田辺市で活動が始まりました。これからも地域の皆さまとともに、グループ全体で森林整備活動に積極的に取り組んでいきます。

長野県茅野市での森林整備活動

2018年6月2日、9月29日に活動を実施しました。6月2日は七ヶ耕地財産区をはじめ、長野県林野部、諏訪地域振興局の協力のもと、グループ社員とその家族87名が、森林内の小木伐採や倒木等の片付けを行いました。9月29日はグループ社員とその家族70名が参加し、地元業者による大木伐採のデモンストレーション見学と森林内散策を行いながら、生物多様性の意義や重要性を学びました。

和歌山県田辺市での森林整備活動

2018年5月19日、第1回目の活動を実施しました。グループ社員とその家族61名が参加し、除幕式、記念植樹の後、中辺路町組合をはじめ地域の方の協力のもと、コナラ・ヤマザクラなど500本に及ぶ植樹を行いました。今後も地域の皆さまとのつながりを大切に、未永く活動していきます。



集合写真(長野県茅野市)



集合写真(和歌山県田辺市)



苗木の植樹(和歌山県田辺市)

東京グリーンシップ・アクションへの参加

東京都が指定する保全地域において、都・NPO法人・企業が連携して行う自然環境保全活動「東京グリーンシップ・アクション」に2012年から参加しています。

2018年5月26日、長谷工グループで6回目となる八王子滝山里山保全活動に参加しました。今回参加したグループ社員とその家族を含めた46名は、東京都環境局をはじめNPO法人自然環境アカデミーの協力のもと、自然観察、竹の伐採や下草刈り、倒木処理、道づくり、竹細工などを体

験しました。また、初めての試みで「池の整備」も実施しました。

また、11月17日、長谷工グループで7回目となる清瀬松山緑地保全活動に参加しました。

今回参加したグループ社員とその家族を含めた54名は、東京都環境局とNPO法人環境学習研究会、清瀬の自然を守る会の協力のもと、草刈り、除伐、落枝整理や木柵交換、自然工作を行いました。



八王子滝山里山保全活動



八王子滝山里山保全活動



清瀬松山緑地保全活動

藤前干潟周辺での清掃活動に参加

藤前干潟は、多くの渡り鳥が訪れる国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されています。プラスチックによる海洋汚染が世界的な課題として大きな話題となっていますが、藤前干潟周辺でも、大量のプラスチックごみの長期残留が深刻な問題となっています。

長谷工グループでは、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会主催の藤前干潟周辺での清掃活動に参加をしました。

2018年5月26日、「春の藤前干潟クリーン大作戦！！」に

グループ社員とその家族30名で参加しました。当日は曇天ではありましたが、たくさんの参加者の方と一緒に藤前干潟周辺で清掃活動を行いました。

また、12月15日、「藤前干潟ペットボトルー掃大作戦」にグループ社員と協力会社社員23名で参加しました。当日は市民や学生の方を含む合計110名の参加者が集まり、藤前干潟周辺で、約1万2,000本のペットボトル他を回収し、非常にやりがいのある活動を実施する事ができました。



春の藤前干潟クリーン大作戦



藤前干潟ペットボトルー掃大作戦



河川敷にて清掃

大阪府主催「第16回共生の森 植樹祭」に参加

2019年3月9日、大阪府主催の「第16回共生の森 植樹祭」にグループ社員とその家族49名・協力会社社員2名を含む366名の市民ボランティアが参加し、約2,100㎡の区域に

1,008本の苗木を植樹しました。今後の木々の成長が楽しみにになりました。



集合写真



植樹



植樹

地域の環境を守る活動

事業所周辺の清掃活動

長谷工テクノ尼崎機材センター周辺の清掃活動

地域で活動を行う企業の責任として地域貢献も兼ねて清掃活動を行っています。2017年に引き続き長谷工テクノ尼崎機材センター周辺道路・側溝の清掃を、2018年12月26日、長谷工テクノ社員3名と協力会社社員4名が行いました。



名古屋市港区港明作業所周辺「みなとアクルス」での清掃活動

名古屋市港区港明作業所では、中川運河沿いに開発予定の「みなとアクルス (minato AQUUS)」の一部を建設しています。「みなとアクルス」の関係者により港北公園や運河周りの清掃を年間数度実施しており、2018年9月に続いて2018年12月7日に開催された清掃活動に、同作業所から2名が参加しました。



地域の清掃活動・キャンペーンへの参加

長谷工グループでは、事業活動において関連の深い地域での清掃活動等に参加しています。

芝地区クリーンキャンペーンに参加

東京都港区主催の「芝地区クリーンキャンペーン～路上喫煙ゼロのまち！～」に2009年より参加しています。2018年度は3回開催され、グループ社員延べ109名が参加し、芝本社ビル周辺地区での清掃や、通行人への歩行喫煙防止の呼びかけを行いました。



大阪マラソン“クリーンUP”作戦に参加

大阪市主催の「大阪マラソン“クリーンUP”作戦」に2006年から参加しています。2018年度は11月25日開催「大阪マラソン2018」に先立ち、全国から参加するランナーをきれいな街並みで迎えられるよう、2018年11月20日、21日の2日間でグループ社員延べ480名が参加し、事務所周辺の清掃活動を行いました。

